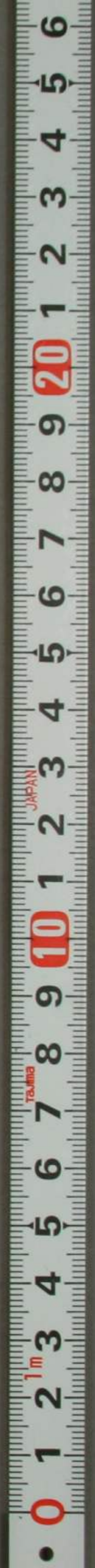




特別
千12
3643
24



願書
起請文

願書

竹ノ歸明頂禮ハ情人菩薩ハ日域朝延
 乃奉主恩在明君ハ農祖たり宝祚を
 身之り為漢書はせとるきんり為よたの
 金定をわりのて之可ハ権扉を行ひ
 りき流り安ふちさるれ年よりと流る年
 相國こい者わりの心海を掌み高氏

故
 梅若誠太郎氏
 昭和五年十月廿日
 梅若重氏
 寄贈



を悟乱きせし是れ法乃あり王法の敵を
と柳曾祖父前の法れ國乃守名を宗
廟の氏族よ改附す義仲い中包も其
後胤うき法大切をたの奉たふ
嬰兒の靈をのく巨海をえり
蛇りあつとつて龍車ふむふもく也知れ
る君乃為國のためよ是をたのの

多依る願をき神明細受たし
を宛めつあつと四方よ退きそま
永二年丑月日たつたふ讀よ
義仲願書ふのあつとを神前よ捧せ
る法乃兵も上矢乃ふをひつり被
室前よ捧く南無阿命頂禮ハ情大喜
薩も皆礼ねをまら

一之讀物 謡曲ノ心持

願書 貞紀請 行 勸進帳 草也 口傳

願書ハ訖中下々 謡音多ク口傳

一無益ノ事ナカラ 四地合方九ニ記ス

宝祚を申しんる者 若しを利せんる者 小三身ノ

金容を取りと

如^カ友^ト小^シ志^シまり^テの^ウより^コの^カ年^ノ相^ノ由^ト

サ切^ニ有^リ行^シテ^モツカエ^テキ也

起請文

下^ニ起^ル請^フ文^ノ事^ト云^フ天^ノ帝^ノ釋^ノ曰^ク
天^ノ王^ノ始^メ法^ヲ立^テ道^ヲの<sup>冥^ニ官^ニ奉^ヒ山^ノ府^ノ君^ト
界^ノ地^ノの<sup>伊^ノ勢^ノ天^ノ照^ル人^ノ神^トを^{た^シめ^テす}
伊^ノ豆^ノ根^ノ留^ル士^ノ海^ノ向^ル慈^ノ好^ク三^ノ所^ノ人^ノ全^ク奉^ヒ山^ノ
三^ノ所^ノ松^ノ尾^ノ年^ノ野^ノあ^つて^{日^ノ本^ノ四^ノノ}大^ノ小^ノの</sup></sup>

下ニ起ル請フ文ノ事ト云フ

神祇冥道請 誓のたまはる殊の氏乃
神の命を正する討平みぬる事の外は
も偽らざる是あはれ汝誓言言乃許す
たる事喜ハ何ひふ地土罪きられ者あり
よひて起請文くのをもて文治元年九月
日正ると請上たるは乃毛もまた
きりきりきり

一八情之所ノ所音 口傳

下界の地まの伊勢天照大神と始なり
伊勢箱根居士海同

下界の地まの伊勢天照大神と始なり
伊勢箱根

一 冥寺山町ノ由年ト上ケハヨリ末ニ四ツ地拍子有
斤ヲリト云 上柳ノ一切謡曲ノ拍子トリ本
地ヲリ 四ノ外ハナシト

宗玄居士
此讀物觀世九近宣清殿ヨリ
奉文印江相傳ノ
本ヲ寫ス也

寛政四年壬子二月五日

斤山愚室老ヨリ借清寫



